



ぼうさい おやまだ

第17号

【発行・問い合わせ先】
 小山田地区防災連絡協議会
 小山田地区団体事務局
 四日市市山田町1373番地3
 ☎・Fax (059)328-3320



コロナ禍の中、今年度は3町で防災訓練が実施されました。

令和2年度 防災・防火標語の入選作



今年度は総数332作の応募があり、素晴らしい標語を考えていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。優秀作品のみ掲載しましたのでご了承ください。皆さんの防災の意識を少しでも高めていただき、災害ゼロの町にするために今後も防災標語による啓発に取り組んでいきます。

「かぞくでね かくにんしよう にげるみち」	矢田 明里さん	小山田小	1年
「火はけた? 私もかくにん お手伝い」	青木 円椀さん	小山田小	2年
「台風が 来るまえにしよう じゅんびをね」	武藤 花歩さん	小山田小	3年
「あわてるな まずはつくえの下で ダンゴムシ」	古市 流雅さん	小山田小	4年
「まず自分 それから周りに 広げる防災」	大川 穂花さん	小山田小	5年
「防災は そなえといしきと たすけあい」	谷川 心美さん	小山田小	6年
「覚えよう 命をつなぐ ハザードマップ」	日下部 百依さん	西陵中	1年
「助け合おう その行動で 助かる命」	平尾 涉貴さん	西陵中	1年
「「また今度でいいや」その軽い気持ちが命取り 準備しよう普段から」	矢田 芽依さん	西陵中	2年
「防災は「もしも」の時に「して良かった」になる」	小野友俐菜さん	西陵中	2年
「決めておこう 家族に会える 避難場所」	伊藤 雅姫さん	西陵中	3年
「無関心 それで命を 救えるの?」	高橋 香帆さん	西陵中	3年
「災は忘れた頃にやってくる 今日かも知れない 明日かも知れない」	伊藤 久子さん	一般	

小山田消防分団の活躍

早くも東日本大震災から10年が過ぎました。

この間にも全国各地で台風・地震・噴火・大雪・大雨・竜巻等の自然災害が規模を大きくして発生し、多大な被害を受けましたが、幸いにも小山田地区には大きな災害はありませんでした。

しかし、この地方では南海トラフ巨大地震の発生が危がまれています。

小山田消防分団は、引き続き『自分達の町は自分たちで守る』をコンセプトに活動しています。

消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

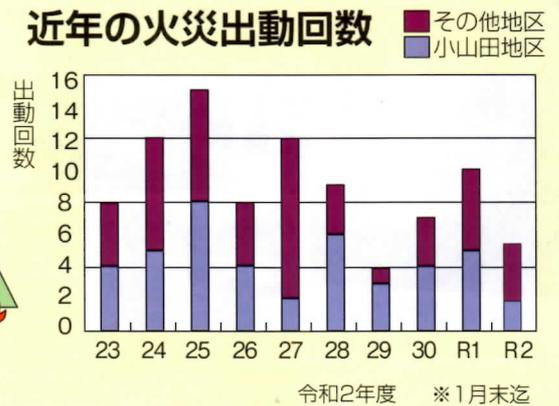
令和2年度の火災出動は5件ありました。

小山田地区は2件でしたが、誤報と鈴鹿地であり、区内の火災はありませんでした。

引き続き油断せず火災予防に努めましょう。



近年の火災出動回数



(2) 火災予防・啓発活動

今年も冬場の火災シーズンには、テレビ、新聞等で火災の逃げ遅れによる犠牲者(高齢者が多い)の発生が連日報道されています。小山田地区は高齢化が高いので特に注意が必要です。

「住宅用火災警報器」は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。もしまだ設置していない家庭があれば早急に設置をお願いします。

住宅用火災警報器は、「いざ」という時にちゃんと作動するか日頃から点検と手入れをお願いします。

また、春・秋の火災予防週間には小山田地区内を順番に家庭訪問により、火災予防のお願いをしています。



住宅用火災警報器の点検

小山田分団員の表彰

【三重県消防協会長表彰 表彰徽章】
(勤続5年以上)

- 矢田 雄基さん (団員)
- 竹内 陽祐さん (団員)

【三重県消防協会長表彰 精勤章】
(勤続15年以上)

- 森田 浩伸さん (機能別団員)

消防団員募集

現在、小山田消防分団は2名の欠員が生じています。

小山田消防分団には、小山田地区在住、または勤務している18歳以上で健康な方であればどなたでも入団できます。

男性・女性を問わず消防団員に応募して下さい。若い元気のある方の入団を待っています。
自分達の町は、自分達の手でしっかり守りましょう!





我が町の 防災訓練

美里町 令和2年10月6日(火) ヤマギシさん太陽の広場



初期消火訓練



炊き出し訓練

山田町 令和2年11月8日(日) 山田町高若センター



医師による講話



初期消火訓練

堂ヶ山町 令和2年11月15日(日) 堂ヶ山町構造改善センター



初期消火訓練



地震体験訓練

私たちの町は、私たちの力で、しっかり守りましょう!

令和2年度は、熊本県南部を中心とした豪雨災害がありました。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中でも、これからも自然災害が日本列島を容赦なく襲ってきます。小山田地区は4本の河川が流れており、起伏に富んだ地形のため、地盤のもろい地域では、がけ崩れの危険性があります。

南海トラフ巨大地震の発生も危惧されており、大地震から家族や地域を守ることの重要性は増大しています。自分や家族の命を守り、地域の皆さんと助け合う、そのために必要な対策に取り組んでいきましょう。

家族や地域の人たちとよく話し合って、 事前に準備しておきましょう!!

地震はいつ起こるか分かりません。そのため、起こる前の備えが第一です。地震に備えて、必要に応じた耐震補強や、家具、窓などの対策をしましょう。

また、ライフラインの停止は長期に及ぶ可能性もあります。ライフラインが復旧するまでの数日間のために、飲料水や食料などの備蓄があると安心です。

小山田地区は『**災害に強いまち**』が合言葉!!



火災警報器

家具の固定

避難場所・避難経路の確認

持ち出しグッズの常備

消火器の常備・点検

防災訓練等の参加





わが家の非常連絡メモ



緊急連絡先

火事・救急	119
警察	110
災害伝言ダイヤル	171
小山田地区市民センター	328-1001
小山田警察官駐在所	328-1148

病院

総合医療センター	345-2321
市立四日市病院	354-1111

電気

中電四日市営業所	☎ 0120-985-340
中電鈴鹿営業所	☎ 0120-985-342

水道

四日市市上下水道局	354-8360(昼間) 351-1211(夜間)
-----------	------------------------------

AED設置場所

小山田地区市民センター	328-1001
小山田小学校	328-1093
西陵中学校	328-1013

災害伝言ダイヤルの利用方法

※171をダイヤルしたら、音声案内に従って操作だけです!

伝言を録音するには

※音声案内に従う

171をダイヤル ⇒ 1 ⇒

録音は

連絡をとりたい人の電話番号を
市外局番からダイヤルする。

録音・再生

音声案内に従って、

伝言を聞くには

※音声案内に従う

171をダイヤル ⇒ 2 ⇒

再生は



STOP!

3 避けよう三密

3つの 密 を避けましょう!

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

①換気の悪い

密閉空間



②多数が集まる

密集場所



③間近で会話や発声をする

密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。

日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。 ※共同で使う物品には消毒などを行ってください。

令和2年度 全国統一防火標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』